

単元の評価規準

単元 学習内容		知識	技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
A 体づくり 運動	ア 体ほぐし運動	・体ほぐし運動の楽しみ方や学習の進め方、運動の系列や構造に基づく発展性を身に付けるとともにその意義を十分に理解している。 ・効果的な体の動かし方について具体的に挙げて説明することができる。	・体ほぐしの運動や体力を高める運動に必要な運動を身に付けたり自ら進んで合理的に体力を高めたりすることができる。 ・今できる運動を円滑に行うとともに新しく身に付けた運動と組み合わせることで合理的な運動を行うことができる。	・場面に応じて技術選択をし、各運動に対して自己の能力を引き出すための目標を設定している。 ・自己の能力やグループに適した課題をつかみ、仲間や先生の助言を受けながら改善している。 ・自己の課題の解決に向け、自ら進んでその達成状況を確認したり運動の内容や方法を見直したりしている。	・体づくり運動の特性に強い興味や関心を持ち自ら進んでその楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・仲間と協力して互いに思いやりながら高い技術の運動を行なおうとしている。 ・体づくり運動の必要性を意識し、正しく受け止め、自ら進んで各運動の特性に応じた体力を高めようとしている。
	イ 実生活に生かす運動の計画				
C 陸上競技	ア 短距離走リレー	・運動技能を向上させるための適切な練習方法や技能ポイント、運動の特性を詳しく説明できる。	・自己の能力に適した合理的なピッチとストライドの組み合わせを見つけ、フォームを意識して練習や競技をすることができる。	・自己の能力を向上させるための課題を明らかにした上で、目標記録を設定している。 ・練習の成果や課題の達成状況を仲間と確かめ合い、新たな課題の解決に向けて、練習方法に修正を加えながら見直しを立てて取り組もうとする。	・陸上競技の特性に強い興味や関心を持ち、自己の能力にあった目標を定め、自ら進んで陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとする。 ・互いの動きを評価し、自ら進んで助言をしたり、励まし合うなど、仲間と協力して記録の計測や練習に取り組もうとする。 ・記録の計測や勝敗に対して公正な態度がとれ、結果を客観的に受け入れたり、仲間を尊重しようとする。
	イ 長距離走	・運動技能を向上させるための適切な練習方法や技能ポイント、運動の特性を詳しく説明できる。	・自己の能力に適した効率的なペースを身に付けており、競走距離全体にわたって力を配分し、力を余すことなく発揮して、練習や競技をすることができる。		
E 球技	バスケットボール	・攻防の速いバスケットボールの特性や必要な集団的技術について正しく理解し、説明できる。 ・ゲームの運営の仕方について、具体例を挙げて説明している。	・パスを受ける動き、フリーになる動き、ゴールチャンスを生み出す動きがタイミング良くできる。 ・マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンスの動きがタイミング良くできる。	・発見した課題に合わせ、技術構造に基づいた練習内容の見直しや合理的な戦術を選んでいる。 ・技能の段階に応じて、組織的な攻守に必要な練習法を見つけたら、作戦を立てたりしている。	・集団的な技能に着目して、作戦を立てて勝敗を競い合う楽しさを自ら進んで味わおうとする。 ・お互いのよいところを認め合い、仲間に働きかけるなどして積極的に協力しようとする。 ・審判の判定や指示を受け入れ、冷静に対処しようとする。 ・練習やゲームの場所の安全を確かめ、仲間の安全に気を配るなど、健康・安全に注意しようとする。
	サッカー	・相手との攻防の中で、手を用いずにボールを運ぶゴール型のゲームの特性があることを正しく理解し、説明できる。 ・ゲームの運営の仕方について、具体例を挙げて説明している。	・タイミングよくパスが出せることや、守備のチャレンジ・カバーなどを身に付けた技能を生かすことができる。 ・サイド攻撃やゾーンディフェンスができ、相手の攻守のバターンに対するシステムを選択して攻防することができる。	・発見した課題に合わせ、技術構造に基づいた練習内容の見直しや合理的な戦術を選んでいる。 ・技能の段階に応じて、組織的な攻守に必要な練習法を見つけたら、作戦を立てたりしている。	・集団的な技能に着目して、作戦を立てて勝敗を競い合う楽しさを自ら進んで味わおうとする。 ・お互いのよいところを認め合い、仲間に働きかけるなどして積極的に協力しようとする。 ・審判の判定や指示を受け入れ、冷静に対処しようとする。 ・練習やゲームの場所の安全を確かめ、仲間の安全に気を配るなど、健康・安全に注意しようとする。
	バレーボール	・ネットを挟み攻防を展開するバレーボールの特性や必要な集団的技術について正しく理解し、説明できる。 ・ゲームの運営の仕方について、具体例を挙げて説明している。	・パス、サーブ、スパイク、ブロックの基本技能を身に付け練習やゲームをすることができる。 ・攻撃フォーメーションの動きがタイミングよくできる。	・発見した課題に合わせ、技術構造に基づいた練習内容の見直しや合理的な戦術を選んでいる。 ・技能の段階に応じて、組織的な攻守に必要な練習法を見つけたら、作戦を立てたりしている。	・集団的な技能に着目して、作戦を立てて勝敗を競い合う楽しさを自ら進んで味わおうとする。 ・お互いのよいところを認め合い、仲間に働きかけるなどして積極的に協力しようとする。 ・審判の判定や指示を受け入れ、冷静に対処しようとする。 ・練習やゲームの場所の安全を確かめ、仲間の安全に気を配るなど、健康・安全に注意しようとする。
	ソフトテニス	・ネットを挟みラケットでボールを打ち合い得点を競うネット型の特性や技能を高める合理的な練習法について正しく理解し、説明できる。 ・ゲームの運営の仕方について、具体例を挙げて説明している。	・攻撃につながるようにボールをどらえ、コントロールしたグラウンドストローク、ボレー、スマッシュ、サーブができる。 ・コンビネーションプレイなどのパートナーとの連携プレイ等で自己の役割を理解し、ゲームで生かすことができる。	・発見した課題に合わせ、技術構造に基づいた練習内容の見直しや合理的な戦術を選んでいる。 ・技能の段階に応じて、組織的な攻守に必要な練習法を見つけたら、作戦を立てたりしている。	・ソフトテニスの特性に着目して、作戦を立てて勝敗を競い合う楽しさを自ら進んで味わおうとする。 ・お互いのよいところを認め合い、仲間に働きかけるなどして積極的に協力しようとする。 ・審判の判定や指示を受け入れ、冷静に対処しようとする。 ・練習やゲームの場所の安全を確かめ、仲間の安全に気を配るなど、健康・安全に注意しようとする。
	バドミントン	・ネットを挟みラケットでボールを打ち合い得点を競うネット型の特性や技能を高める合理的な練習法について正しく理解し、説明できる。 ・ゲームの運営の仕方について、具体例を挙げて説明している。	・攻撃につながるようにシャトルをどらえ、コントロールしたハイクリーク、ドロップ、ドライブ、スマッシュ、ヘアピンができる。 ・相手の動きやシャトルに対応した作戦を立て実践することができる。	・発見した課題に合わせ、技術構造に基づいた練習内容の見直しや合理的な戦術を選んでいる。 ・技能の段階に応じて、組織的な攻守に必要な練習法を見つけたら、作戦を立てたりしている。	・バドミントンの特性に着目して、作戦を立てて勝敗を競い合う楽しさを自ら進んで味わおうとする。 ・お互いのよいところを認め合い、仲間に働きかけるなどして積極的に協力しようとする。 ・審判の判定や指示を受け入れ、冷静に対処しようとする。 ・練習やゲームの場所の安全を確かめ、仲間の安全に気を配るなど、健康・安全に注意しようとする。
	卓球	・テーブルの上のネットを挟みラケットでボールを打ち合い得点を競うネット型の特性や技能を高める合理的な練習法について正しく理解し、説明できる。 ・ゲームの運営の仕方について、具体例を挙げて説明している。	・攻撃につながるようにボールをどらえ、コントロールしたフォアハンド、バックハンドによるロング、ショート、カットなどができる。 ・相手の動きや球種に対応した作戦を立て実践することができる。	・発見した課題に合わせ、技術構造に基づいた練習内容の見直しや合理的な戦術を選んでいる。 ・技能の段階に応じて、組織的な攻守に必要な練習法を見つけたら、作戦を立てたりしている。	・卓球の特性に着目して、作戦を立てて勝敗を競い合う楽しさを自ら進んで味わおうとする。 ・お互いのよいところを認め合い、仲間に働きかけるなどして積極的に協力しようとする。 ・審判の判定や指示を受け入れ、冷静に対処しようとする。 ・練習やゲームの場所の安全を確かめ、仲間の安全に気を配るなど、健康・安全に注意しようとする。
ウ ソフトボール	・攻撃側と守備側に分かれ、攻守を交替しながら得点を競うベースボール型の特性や技能を高める合理的な練習法について正しく理解し、説明できる。 ・ゲームの運営の仕方について、具体例を挙げて説明している。	・正確なスローイングとキャッチングで、ボールをコントロールすることができる。自らの判断で場面に応じたバッティングをすることができる。 ・相手の攻撃パターンに対する守備を選択して対応するための指示ができる。	・発見した課題に合わせ、技術構造に基づいた練習内容の見直しや合理的な戦術を選んでいる。 ・技能の段階に応じて、組織的な攻守に必要な練習法を見つけたら、作戦を立てたりしている。	・ソフトボールの特性に着目して、作戦を立てて勝敗を競い合う楽しさを自ら進んで味わおうとする。 ・お互いのよいところを認め合い、仲間に働きかけるなどして積極的に協力しようとする。 ・審判の判定や指示を受け入れ、冷静に対処しようとする。 ・練習やゲームの場所の安全を確かめ、仲間の安全に気を配るなど、健康・安全に注意しようとする。	
G ダンス	イ フォークダンス	・学習の進め方について理解し、具体例を挙げている。 ・自国の文化や異文化への理解について具体例を挙げたり、仲間に教えたりすることができる。	・体全体を使った感じをこめた動きや、相手と調子を合わせた正確なステップ・足運び・動作などができる。	・踊りや楽曲に応じた練習の仕方を積極的に工夫し、進めている。	・パートナーや仲間とお互いに協力し、リーダーシップを発揮しながら教え合い、協力し合って練習しようとする。 ・自ら進んで誰とでも心を合わせ、仲間と踊り、みんなで楽しみながら交流を深めようとする。
H 体育理論	2 豊かなスポーツライフの設計	・年代に応じた様々なスポーツの楽しみ方について、正しく理解できる。 ・効果的なスポーツライフを設計するために必要な条件について、正しい知識をもつことができる。		・スポーツを楽しむために、学習した内容を自らの生活のなかに取り入れることができる。 ・自らの条件に応じた、スポーツライフの設計について考えることができる。	・ライフステージに応じたスポーツの楽しみ方や、様々なスポーツの楽しみ方について、積極的に学習できる。 ・スポーツライフとは何かを知り、スポーツライフの設計のために必要な情報を積極的に収集できる。